

全 員 協 議 会 記 録

令和3年11月15日(月)
10時05分～11時35分
議場

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長

肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、足立議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

市 長、副市長、教育長、

総務部長、健康福祉部長（教育部参事）、健康福祉部参事、都市建設部長、上下水道部長、市長公室長

説明員（執行部報告事項(1)）JR西日本米子支社 山陰地域振興本部担当課長

〔事務局〕

次長、浜野書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 浜田駅周辺整備事業に伴うJR委託工事費及び今後のスケジュール（都市建設部）
ルについて
- (2) 新型コロナウイルス感染症関連の浜田市支援策【第10弾】（市長公室）
（案）について
- (3) 新型コロナウイルス感染症関連の状況について（健康福祉部）
- (4) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について（健康福祉部）
- (5) 「休日応急診療所」及び「病後児保育室」の移転に伴う市役所（健康福祉部）
での開設終了について
- (6) 周布橋仮設歩道橋整備事業の進捗について（都市建設部）
- (7) 第2回 金城地域断水防止対策住民説明会について（上下水道部）
- (8) その他

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

〔 10時 05分 開議 〕

笹田議長 | ただいまから令和3年11月15日の全員協議会を始める。それでは議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 浜田駅周辺整備事業に伴うJR委託工事費及び今後のスケジュールについて

笹田議長
都市建設部長

都市建設部長。

(以下、資料をもとに説明)

詳細については、本日 J R 西日本米子支社山陰地域振興本部から説明に来ていただいているので、私の後に引き続き、詳細についてご説明いただきたいと思います。

増額に至った主な項目としては、駅構内改良工事、踏切移設拡幅工事、道路擁壁等の整備、管理費ということで大きく4点ある。詳しくは後ほど説明する。

この事業費の増額に伴って市の実質負担額だが、国費、地方債の交付税を除いた4,900万円が実質の負担増となる。表をごらんいただければと思う。

君市踏切の供用開始時期だが、令和5年12月末を現在予定している。今後のスケジュールについては令和3年12月定例会議で、工事期間が令和4年・5年度の複数年となるため債務負担行為による予算提案を予定している。

令和4年3月定例会議においては J R 委託工事の基本協定について、議決を付すべき契約となるため提案を予定している。

なおこの J R 委託工事の増額について、令和元年9月に J R より聞いており、この段階で工事費が具体的に固まっていないという状況で金額が変わると聞いていたため、さらに精査するよう、工事費を下げるよう指示した。この間新型コロナウイルスの影響で J R の現地調査や J R 各部署の調整会議などが開催できなかったこともあり、工事費の確定ができず報告までに大幅な遅れが生じた。 J R 委託工事費が大幅な増額になること、また報告が遅れたことについて、申しわけなくおわび申し上げたいと思っている。

私の報告については以上である。早速準備をさせていただいているので、 J R から詳細な説明をさせていただきたい。

J R 担当課長

お手元に資料3枚ある。また補足資料としてスライドを5枚程度用意しているので、それに基づいてご説明したい。

浜田駅構内の君市踏切移設拡幅工事に係り増額になったことである。2ページ目に表をつけている。当初2億7,100万円という金額が出ていた。この時点の状況を申すと、概略設計を実施する前のものであり、踏切が移設される位置程度がわかっていたということで、それをもとに図面上で使用する設備などを計上した。これは J R が直轄で、過去の同様の工事の施工単価などを参考に算定

したものである。今回と書いてある、6億1,300万円については、現地調査を実施して詳細設計を実施している。具体的な施工計画を踏まえ、施工数量を計上し算出したものである。表の下に主な増額理由を書いている。6億1,300万円。増額で3億4,200万である。

まず①駅構内改良工事についてである。補足資料の1も併せてごらんいただきたい。これは配線略図という。上側が現状、下側が計画ということで、上下に分けて表示しているが、上の右側のほう、君市踏切と書いてある黄色い線がある。これが現状である。計画としては下側の赤い少し太い線がある、上の黄色い線から駅側に踏切を移設するという計画である。この移設をすることによって赤い線を斜めに引いているが、ここに分岐器が4組ある、これの移設、それから分岐器に信号機がついているのでこれも移設することになる。それに併せて真ん中あたりに丸をつけている、ここに信号機があるが、これも測定の結果追加で東側に移設する必要があるとのことである。

移設する理由は、踏切のところの分岐器が駅側に寄ってくるといことで、ホームにとまる車両の長さが足らなくなるということ、真ん中の信号機も東側に移設する必要があるという理由である。

次の資料、わかりにくい図面で申しわけないがこれは少し詳細に、先ほどの略図を掲げたものである。上側が現状である。計画として真ん中の図が当初の計画である。見にくいが一番右側の黄色い線が踏切の位置である。少し左側にいった、赤く太い線があるがここが移設する踏切の位置になる。先ほどご説明申し上げたとおり赤い線が上の黒い線と比べて駅側に寄せる分岐器が移設していく位置になる。赤と黄色の線が入り混じって少し見にくい、黄色の線が撤去、赤い線が新設、このように見ていただけたらと思う。当初の計画でいくと分岐器附帯の100メートル程度が軌道整備が必要ではないかということ、直轄の場面ではそう見込んでいた。その後詳細設計をして、青枠で囲っているが、合計480メートルの軌道整備が必要になった。こういうことになっている。いわゆる、鉄道はミリ単位の整備をしているということがあり、それを取りつける範囲を調べていったらこういう状況になった。これは電気の関係で増えた内容である。当初、写真の下側に線を引いているが、上側の赤い矢印の範囲が当初見込んでいた、信号の影響する範囲だった。これは継電気室という電気のリレー室から真ん中あたりにある朝日町踏切までの範囲程度が使用するのではと直轄では見込んでいた。その後詳細設計をしたところ、下側の赤い矢印の範囲、相当広くなったが信号機の位置を移設したりということ、踏切のいわゆる鳴動区間といって、列車がある地点を踏んだときに踏切がおり始める、これの安全のためにこの範囲の改良が必要になった。これは指令システムといって米子に指令所がある。ここで全体の線路の整備をしているのだが、この指令

所にある進路図の線形変更に合わせて修正する必要があるというものである。これは当初見込んでなかったということで増額になっている。内容はソフトの修正や確認検査の作業というものがこれに伴う費用である。下側の図はGPSシステムとってこれは2006年1月に伯備線で触車事故があった。その安全対策のためにこういったシステムが導入されたということで、これのシステム変更も今回分岐器・信号機の位置が変わるということで、作業員の安全のためにこういったものが必要になってくる。

左上の写真はATS地上子とって曲線や分岐器などの前に設置して、列車の速度をチェックして、列車が早いスピードで入ったときには自動でとめるシステムである。これも安全上必要なものである。

上の右側の写真は安全側線と呼ばれるが、駅構内に同時に列車が侵入したときに、正面衝突しないように安全側線という砂利盛りの施設があるのだが、それに片方の列車が入って行って正面衝突しないという設備の前に置く設備である。これを倒すと周辺の信号が赤になり、自動的に周辺の全部の列車がとまるという設備である。これも見込んでいなかった。

下の写真は電気融雪器で、雪が降ったときに分岐器が固まるのを避けて、熱で雪を解かす設備である。これらの設備が見込んでいなかったということで、増額の要素になっている。

説明は以上である。

笹田議長
川上議員

ただいまの報告について質疑等はないか。

これまで2億7千万円という話の中、これはあくまでも口頭だろうか文書だろうか。

都市建設部長
川上議員
都市建設部長

この2億7千万円については口頭で報告いただいている。

ということは2億7千万円というのは、契約はしていないのか。

はい、協議の中で金額等を提示いただいていた。契約はしていない。

川上議員

こうして、2億7千万円から大幅な増額ということで、駅構内のみならず駅構内を超えてかなり遠くまで影響が及ぶということもともとわかっていたことだと思っている。我々JRのことは理解しがたいところはあるが、若干でもJR関連の者はわかると思う。執行部の方々、当時2億7千万円のときにJRの関係も知らずにうのみにしていたのではと思うが、その点はいかがか。

都市建設部長

当時はどれくらいの事業費がかかるかという協議の中でJRから数字をいただいているので、市としてはその数字を確認している。それが正しいかどうかまではJRが申された事業費なのでそのまま事業費として考えていた。

川上議員

工事はスタートしているのでなかなか難しいが、契約もしていないのに議会に対してご提示いただいた。それをもとに予算を通しておいて、今回このように中身が明確になってから実は足らなかったという。その言い方は本当によいのか。その辺はいかがか。

都市建設部長

事業費についてはここまで大幅に上がることは私どもも想定してなかったのですが、本来だときちんとしたものができた段階で報告は必要だったとは思うが、さらに事業費が高額なため何とか少しでも下げていただきたいと、これまでも申し上げてJRと協議していたが、結果的にこのような金額になっていることについては私どもも、金額が膨らんで申しわけなく思っている。

川上議員

これまでも協議して、なるべく安くしていただきたいと伝えていたということは、以前からこういう形になることはご存じだったのか。いつごろからこれだけ増えることをご存じだったのか。

都市建設部長

最初に金額が上がるだろうとJRから報告いただいたのは、令和元年9月である。

川上議員

令和元年9月といえば、君市踏切の着工はする前か、後か。

都市建設部長

君市踏切の工事については着手しているところであるし、また事業としては補償移転等々のお願いをする中で、地元への説明や補償についての説明を既に始めていた。この時点で見直しということはなかなか難しかったと思っている。

川上議員

全体像をつかまないうちにスタートしてしまったからこうなってしまったというのが本当なのだろう。ということは当時の方々はご存じの上でこういうことを進められたのか。

市長

経緯を振り返らせていただくが、平成28年4月、2016年、今から5年半前、JRから概算工事約2億5千万円くらいといった報告を受けている。これは先ほど都市建設部長がお話ししたように、協議させていただいた会議の席でJRから提示があった。

その後、今から2年前になる令和元年9月、突然にして6億5,900万円に、大幅に増えるという連絡がJRからあったと報告を受けた。正直、聞いてびっくりして。なぜそれほど増えるのかと。JRにはしっかりと、なぜ増えるのか、またその工事費を精査するようにと指示した。

その後JRにおいてもいろいろご検討され、最終的に今日話があったような具体的な数字が出てきたのは今年の7月である。これまでJRの中でいろいろ精査されていたわけだが、それが出てきたのが今年7月である。そこで出てきたのが今日お話にあった5億9,700万円という報告が今年7月にあった。それを踏まえて、再度、本当にそうなのかを確認したところ、10月21日に、先月だが、実はさらに増えて今日お話の6億1,300万円という数字がJRから出てきた。こういった経緯である。したがって、当初この踏切工事をやるときの判断は2億5千万円くらいという話からスタートし、2年前にJRから突然にして倍以上の金額に変わると言われ、その間、本当にそうなのか説明してほしいというやりとりをしており、今年の7月以降に数字が出てきて今日ご提示した数字になった。

ただ、これについて私どもなかなか議会でも恐らく説明できないということで、JR自ら説明してほしいとお願いし、今日この場に来ていただいていた説明になった、そういったいきさつである。

川上議員

いきさつについてはしっかり確認させていただいたと思うが、2億幾らが6億幾らになる、なおかつ2年前には大幅に増えることがわかっていた。多分2年前ごろはコロナの関係でなかなか協議がうまくいかないという形しか私どもは説明を受けていない。大幅に増えるという話は聞いていない。そのときに、大幅に増えそうだという情報でもいただければ、また私どもも頭の中を整理できたと思うが、情報もいただかず突然こうして大幅増だと話を受けて、私どもは市民に対してどのように説明すればよいか、もう一度確認したいのだが。

副市長

川上議員からあったように、確かに皆にも早くお伝えすることは重要だと思っている。ただ先ほど市長が申したようにJRからご提案いただいた金額も6億数千万円になって、また5億9千万円、また6億ということで、千万円単位での金額がまだ、詳細設計ができてない以上はわからないということで。私が昨年11月に今日お見えのJRの課長等々と面談し、こういう状況になったことに対してJRの認識をお伺いし、JR内部でもどこまでこのことが理解されているか、それから今後これを大幅な減額ができるのかというようなことを改めて検討いただきたいと、昨年11月に申し上げた。それから詳細を検討したいとのことだったので、まだ金額が流動的に大幅に動く可能性があるということで、皆には報告せず、今年7月にある程度このくらいの金額になりそうだと伺ったので再度確認していただき、先月10月に私が面談させていただき、これが最終的な金額になりそうだと伺ったので、それをもって今日のご説明をさせていただいた。もともと令和5年中にこの工事を仕上げて、既に市道部分はでき上がっているのも、多分市民の皆も1日も早い開通を願っておられると思ったので、工期に影響がないということであるべく進めてきたことも踏まえて、今日このような突然な説明になったわけだが、ある程度額も決まり、これで今後進めたいということで本日説明させていただいた。

笹田議長

先ほど市長の説明のところで数字が少しあやふやだったので、令和元年9月からの正確な数字をもう一度お願いできるか。JRから指定された金額。

都市建設部長

令和元年9月に2億7,100万円から6億5,900万円になると連絡があった。その後精査していただき、令和2年11月に事業費6億2,700万円という提示があった。その後またさらに精査いただいて、令和3年7月に5億9,700万円という提示があり、最終的に本日の6億1,300万円の提示をいただいたのは令和3年10月である。

川上議員

いかにしても6億1,300万円。これについてはJRも最終的な見積もりだと思うが、変更があるかどうか。なぜなら今度のご契約をさせていただくことになると思う。してないのだから。そうするとまた変更増になるとか。減ならよいが増というのはいかんせん、もう物が言えなくなるということだと思う。総額の変更があるかないか。JRはどのようにお考えか。

J R担当課長

詳細設計をやった後の算定した金額なので、この範囲内で事業は進めたいと思っている。

川上議員

非常に心配するのは、期間が長くなると列車見張り員が増えてくるとか、工事指揮者が増えてくるとか、なってくると思う。その場合の金額はこの中に含まれているのか。

J R担当課長

含んでいる。

川上議員

既に道路部分はできているし、残ってくるのは踏切だけだと思うので、ぜひご協力いただき早く済ませていただく。ご提示いただいた工期をもう少し短くしていただくことが必要だと思う。その点努力していただくのであれば、私は致し方ないと思うが。事業費は総計幾らになるかわかるか。道路も含めて全て事業費は。もともと8億くらいだったと思うが、それが幾らになるか。

建設整備課長

総事業費についてはJ Rの増額分も含めて、見込みではあるが今のところ15億3千万円を予定している。

失礼した。先ほどの額については、今まで用地補償や道路工事、設計費諸々含めて約15億3千万円になる。

笹田委員

ほかにあるか。

西田議員

この件については、つい最近初めて情報を聞いた。非常に憤りを感じている。私たちは市民の代表として市と意見交換しながら、両輪でやっていく議会である。それが、合併当初を振り返ると、君市踏切を含む駅北と南側との関係は、本当は市民が一番望んでいたのはオーバブリッジだと思った。それを、予算的には高くつく、君市踏切の改良のほうが安くつく。オーバブリッジにすると当初おそらく8億とか10億とか、それくらいの、今だったらもっとすると思うが、それくらいの予算がかかるから、予算を抑えるためにオーバブリッジをあえて変更して、予算を抑えるための君市踏切の改良となったと思っている。

今の話を聞くと、既に全体で15億。だったら最初から。市民にどう説明したらよいか、というくらい、本当に憤りしかない。どう市民に説明したらよいか、という気持ちを訴えておく。

都市建設部長

当時検討するに当たり、ルート案は4案程度提示していく中で、いろいろな協議をして、また議員からもご意見をいただき、地元の期成同盟会など要望を出された方もおられるので、説明をする中で現在の平面交差という形で君市踏切を移設して拡幅する案で進めていた。事業費については当時オーバの立体交差にすると15億超かかるということも、確かに当時はあったかと思うが、今の平面交差をするに当たっては事業費が安くなるということもあって、当時はこのルート案の決定にも至ったと思う。

その後地元の説明をしていただく中で、地元にもおおむねこの平面交差でご了解もいただいたということで事業を進めてきた。当時の金額からかなり上がったということは、当時そこまで上がることはなかなか想定できなかった部分かと思う。結果的にこうした金額になったということは、私どもももう少し検証しなけれ

川神議員

ばいけないと思うが、現在こうした形で進めているので、何とか早期の完成を目指したいと考えている。ご理解をいただきたい。

既にこの問題に関しては川上議員からさまざまな質問が出ているので重複は避けたいが、私もただいまの西田議員と同じように、市民に対しての説明責任をどう果たせるのか、少々当惑もしている。当初J Rが見積りした積算根拠の信憑性のあたりと、今回の6億何がしかの、あまりに差異が大きすぎる。ただいま説明を聞かせていただいたが、我々は専門家ではないのでそれがいかなものかは受け入れざるを得ないところもあるが、私からは1点。先ほどの説明の中で、約2年前にこのような状況を既に市長並びに執行部のほうで、J Rから相談があったというか情報入手しておられる。そういった中で当初を振り返ると2年前は私も議長職をさせていただいていたが、さまざまな課題の中で重要な案件についてはいろいろなご相談をしながら両輪のごとく進めてきたという中で、このことに関しては全く、そのような協議もなければ情報をいただいていた。今思えば、このような大変な状況ではぜひご相談をいただきながら、議会としてもこの問題をどのように進めていくのか、そのあたりは議会と執行部のある意味信頼関係というか、共同作業として進めていきたかったと思っている。そのあたりがとても残念でならない。説明がなかなかできなかった状況は想像はできるが、今後のことを含めてそのあたりと議会との連携に関して、改めて執行部の考えを聞いておく。

市長

2年前に大幅な増額という連絡があったときに、すぐに議会にご報告しなかったことについては私からおわび申し上げたい。

先ほど説明したが、突然にしてJ Rから6億5千万円強の増額だという一報をもらった。にわかには信じがたく、なぜそうなるのかと説明を求めた。したがってその数字が独り歩きすると、これもまずいこともあるかもしれないし、またJ Rも中身についての精査はこれから行うということだったので、当時議会には報告を行わなかった。この点については私からおわび申し上げたい。

今後についてもこれほど大きな事業でもあるし、大幅な変更の場合にはしっかりと議会の皆に、今このようになっていると、途中報告にはなるかもしれないが報告してまいりたいと思っている。今後しっかり気をつけてまいりたい。

足立議員

川上議員とのやりとりを聞いていて思ったのだが、まずJ Rと各自治体がこういった線路の切りかえ等をされる場合、一番初めの段階はあくまで口頭でしかやりとりされないのか。書面でのやりとりは一切されないのかお尋ねする。

都市建設部長

通常、事業を行うに当たってはJ Rへの委託工事となるので、そこはJ Rと具体的に協議する中で金額の概算をいただくことになろうかと思うが、その時点ではすぐの工事とはならないのでそれまでの工事事例等を参考に事業費を算定され、自治体に金額の提示をいただいたと思っている。具体的な詳細設計していく中で

- 金額が精査されていくと思っているので、最初に提示いただくのはあくまでも概算という形で、それをもとに事業を進め、最終的に事業が進む中で設計等をしていただき、事業費等々が出てくると思っている。
- 足立議員 私が聞きたかったのは、最初に J R から言われた2億7千万円当時、その数字を書面でやりとりしたかどうかを尋ねたのであって、詳細設計云々は先ほど説明があったので理解している。最初の概算設計のやりとりを書面もなしに口頭だけで、J R は浜田市以外の自治体ともあくまで口頭でしかお示しされないのかどうか。そこを伺いたい。
- J R 担当課長 判こをつき合う文書の交換については協定書という形で、今回の君市踏切についてもその場面が初めてということになる。当初は、当然資料はお渡しするが、判こをついたような約束をする文書ではない。どこの自治体についてもそういう形である。
- 足立議員 ということは最初の段階は判こもつかれない、約2億7千万円の数字のペーパーを市に提示されたということと理解した。それはよい。
- 今回の増額に対して市のほうで社会資本整備総合交付金、合併特例債、一般財源等は増額になるということで、この部分を本来ほかで使う予定だった気がするのだが、そういった影響が全体的にあるのかどうかお尋ねする。
- 都市建設部長 確かに金額的には社会整備交付金の枠が、事業費が大きく増えているので、これについては他事業に全く影響がないかということ、なかなかそこは否めないところだと思っているが、何とかほかの事業に影響がないような形で、事業費の配分をしながら、枠についても県に要望しながらほかの事業に極力影響が出ないように。全くゼロというわけにはいかないが、何とか影響が出ないように進めていきたいとは考えている。
- 足立議員 あまり言うとは補正に係るのでこれ以上は言わない。またそこは補正で聞きたい。
- 説明の中で J R 委託工事に伴う管理費が未計上だったと記載があるが、未計上というのは、本来すべきことをしてなかったのか、それとも最初からそれはその段階で管理費は上げずに途中から上げるものなのか。通常考えて、管理費は工事費の中で必ず発生するものだと私も思うのだが、それなくして途中で上がってくることに大変疑問を感じるのだが、その説明をお願いします。
- J R 担当課長 当初のいきさつが全てわかっているわけではないが、管理費は必ず発生するものである。この中身については全体工事費の何パーセントという数字が決まっているため、見込めば見込まれたものだとして理解している。当時どういう形で入ってなかったかは少しわからないが、当然見込むべきものである。
- 足立議員 本来見込むべきものを計上してなかった、未計上であったというのであれば、その責任は J R 側にあるのではないかと私は思う

J R 担当課長

のだが。普通こういう工事をする際に、工事業者側が未計上だったら、当然業者側負担で対応していただけるものと私は思うのだが、それも全て浜田市のほうで負担しなければいけないのか。

足立議員

管理費については私どもが委託を受けて工事をやるという費用なので、これは当然、費用として計上するべきものだと理解している。浜田市にお願いしているものである。

J R 担当課長

なので、最初から本来計上すべきものをされてなかったのだから。ここには未計上だと書いてある。つまりそちらが本来計上しないといけないものをしなかったのだから、当然 J R 側で負担されるべきではないかと話しているのだが。

足立議員

管理費については当初の場面では工事費のみのご提示だったと理解しており、管理費については当然その工事費に7パーセント、8パーセントの数字を掛けたものが必ずかかるものと理解していたが、ここでは計上がされてない状況だったということだと思う。

都市建設部長

つまり最初の工事費が示された際に、管理費等が計上されてなかったことは浜田市のほうで見落とされたのか。浜田市は中身を確認されてないのか。

笹田議長

J R の委託工事費全体の費用ということで、内容までは当時詳しくは伺ってないと思う。あくまでも全体の工事費ということで2億5千万円の金額をいただいたと思っている。

佐々木議員

ほかにないか。

やりとりや冒頭の J R の説明を聞いていて、ある程度、大体のイメージはできたのだが、どうしても理解できないところのみ質問させていただく。

J R 担当課長

先ほど、事業費がころころ変わったという話があった。具体的には当初平成28年4月現在の概略設計、大まかな設計で事業を見込んでいかれたが、詳細設計をしたときにこういうことになったということだと思う。管理費については別にして、説明があった中で例えば分岐器の移設の関係、GPS の関係、あるいはタピットというものが見込めてなかったという話があった。本来こういうものは見込んだものが当初の概略の設計で入ったものが出てくるのが当然と思うが、なぜ当初出されなかったのか伺う。

佐々木議員

ご説明でも少し触れたが概略設計をする前の段階であり、細かい部分については概略設計をし、詳細設計をしてわかってくるものなので、当初は本当に、目に見える、分岐器がどれだけ支障するのかといったことの算定しかできてなかった。

J R 担当課長

当初の設計の事業費をもとに浜田市でも事業計画を立てたり財源を確保したりして進めてきているので、当初、もう少し具体的な精査をされた上での設計のもとに事業費の提案が、もっと必要だったのではないかと感じている。今さらの話だがかががが。

再三申し上げるが、設計ができる前の段階で事業費がどれくらいかかるのかというやりとりの中でお示ししたものであり、詳細については当然設計後ということとは浜田市とも理解しながら進め

佐々木議員

たと理解している。

同じことの繰り返しになるのもうやめるが、私も16年この席でいろいろ議論させてもらっているが、事業費の詳細設計が出たときにこれだけ差がある事業は経験がないし、もともとの概略の基本設計が一体どういう役割を果たすのか非常に疑問に思った。この場合は特別そういうことになったのかもしれないが、国やあるいは市の一般財源、市民の税金をしっかりと大きく使う中で、簡単に理解しかねるし、概略設計と詳細設計の大きな違いは理解しがたい。

副市長

先ほど来からこの変更について、お示しする時期の問題については市の執行部がもう少し早く情報提供すべきだった。ただ、先ほど来あるように管理費が入ってなかったとか、事業費の増額に対して当初の見込みのこと、私はこれまで3回、今日お越しただいている課長と議論させていただき、皆が思われるのと全く同じことをお伝えさせていただき、再考いただいたのが現状である。ただJRも工事される上で赤字で工事はできないということで、当然必要なものはしっかり見込んでいただき、先ほどあったようにまた増額ということがないように、しっかり裏づけを取っていただきたいということで詳細設計までしていただき、金額が今回のことになったと認識している。

皆と同じ思いではあるが、市民の皆のために1日も早くこれを開通させたい。今さらこれを中止することはなかなか難しいと思っているので、そういう面ではご理解いただきながら、またJRからいろいろ情報提供があったことは今後逐一ご報告させていただく。12月での債務負担、3月定例会議での基本協定という動きになると思うので、引き続きしっかりJRと連携し情報提供させていただきたい。どうかご理解いただきたい。

笹田議長
串崎議員

ほかにないか。

JRに1点ほど聞いておく。今の話のとおり大変な増額ということで、JRの場合今回は浜田だがあちこちでいろいろ工事等もあるのだろうが、大体こういう感じなのか。

JR担当課長

大体こういう感じということではないと思うが、お金を算定した段階と概略設計、詳細設計をした段階で大きく変わることは、なくはない状況だと思う。例えば事例を申し上げますと、米子駅の南北一体化というところでも、十数億増額になるという報道が先般されたということもある。こういうことばかりではないが、マスコミ等に取り上げられるという事象が発生するということがたまにあると理解している。

串崎議員

多分どこの自治体もこのように上がればもめるのは当然の話だと誰しも理解している。そうなった場合、6億はJRのほうで少しは金額を歩み寄ることは、あったかなかったか、できないかどうかお聞きしておく。

JR担当課長

工事費の精査は当然させていただいている。詳細設計をした結

串崎議員	果としてこの金額をご提示したので、この金額でお願いしたい。
	お願いではなく、今までほかの自治体でかなりこのようにオーバーしたときに、JRの歩み寄りにはできないのか、やったことがあるのか。私は本当はするべきだと思う。これくらい違ってくれば。そうしたことがあったかなかったかお聞きする。
JR担当課長	歩み寄りというのがどういうものか理解できないところもあるが、詳細設計で算定した金額についてはその金額で、他の自治体についてもお願いしている。ルールによって、JR側が負担すると定められたものもあるので、そういったものは当然JR側で負担させていただいている。
笹田議長	ほかにないか。 (「なし」という声あり)

(2)新型コロナウイルス感染症関連の浜田市支援策【第10弾】(案)について

笹田議長	副市長。
副市長	このたび新型コロナウイルス感染症関連の浜田市支援策第10弾案をまとめたのでご説明させていただく。資料をごらん願う。 (以下、資料をもとに説明)
笹田委員	ただいまの件は12月定例会議に議案として、令和3年度浜田市一般会計補正予算第9号が提案される予定なので、質疑・審査は議案質疑又は付託先委員会でお聞きしたい。本日確認しておきたいことがあればお願いします。 (「なし」という声あり)

(3)新型コロナウイルス感染症関連の状況について

笹田議長	健康福祉部長。
健康福祉部長	(以下、資料をもとに説明)
笹田議長	ただいまの報告について質疑等はないか。 (「なし」という声あり)

(4)新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

笹田議長	健康福祉部参事。
健康福祉部参事	(以下、資料をもとに説明)
笹田議長	ただいまの報告について質疑等はないか。
柳楽議員	先ほどの報告の中で他の自治体に住所がある方の接種が千人くらい多くなっている感じだったが、ほかの自治体で既にワクチン接種を一旦終了されている自治体があると伺っているが、そういうところからの方が浜田市で接種されているといった状況があるのか。
健康福祉部参事	終了といっても完全に閉鎖したわけではなく、部分的に希望者があれば受け付けされているところがほとんどではないかと思っている。浜田に転入してこられる方や、住所がなくいらっしゃる方もいるが、私たちのところで受けられる分はお受けして接種さ

笹田議長

せていただている。自治体によって対応はいろいろあるうかと思
う。

ほかはないか。

(「なし」という声あり)

(5)「休日応急診療所」及び「病後児保育室」の移転に伴う市役所での開設終了に
ついて

笹田議長

健康福祉部長。

健康福祉部長

(以下、資料をもとに説明)

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

(「なし」という声あり)

(6)周布橋仮設歩道橋整備事業の進捗について

笹田議長

都市建設部長。

都市建設部長

(以下、資料をもとに説明)

笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

西田議員

歩道橋が2メートルから3メートルになったのは非常によいこと
だと思っている。ただその仮設の歩道橋なのだが市民から、仮設
でされるならまたいずれ取り壊す、二度手間ではないかと。だっ
たらあっさり本橋から少し離れて、本格的な歩道橋を設置されたら
、逆に車道との距離もあって安全性も高まるし、そのほうがか
えって取り壊しもなく済むのではと言われた方もいた。その辺に
ついての検討はされたか。

都市建設部長

実際今は仮橋ということで検討しており、それを永久的に使う
かどうかという検討はしていない。ただ、仮設なのでこの橋が10
年、20年、本橋でいうと100年をもたせる形で現在の橋があるので、
仮設なのでそういった本橋にするとかなりの費用がかかると想定
されるので、あくまでも仮橋で進めていきたいと思っているし、
歩道の確保については新たにかける橋に一体型で整備するとい
うことで、そちらのほうが事業費が、一つの橋で維持管理して
いくことも必要になるので、一体的な歩道と車道の本橋をつくり
たいと考えている。今の仮橋についてはあくまで仮橋なので、5年
程度もてる形での仮設を考えている。

西田議員

繰り返すことになるかもしれないが、きちんとした本格的な歩
道橋で車道から離れて安全性確保、それに今の水道管等ももろも
ろある。そういったものを歩道橋に全てきちんとかけてやれば、
そのほうが先に進むのではないかと。多少、車道と歩道橋が離れ
ればその分だけ基礎的な費用も膨らむのではと思うが、その辺は
より本気で検討されたのかと思って伺った。

都市建設部長

今回早急に歩道を歩かれる方の仮橋を何とか確保したいとい
うことで、早期に橋を設置したいということ。本橋となるときち
んとした設計をし、また工事等にかなり時間を要するというこ
もあるのでは、あくまでも仮設ということで早期の確保をしていき

	たい。本橋の検討はしていないが、あくまでも早く歩行者の方の通路を確保するというので、今回仮橋を設置させていただきたいと考えている。
芦谷議員	地元では不便を被っている。今後関係先や関係者、地元への説明の考えがあれば伺う。
都市建設部長	今週業者が決まる予定だが、決まったら工事の内容等を地元の方にきちんと説明なり周知なりをしていかねばと思っている。コロナの状況もあるので回覧で周知を図ることを今は考えている。
笹田議長	ほかはないか。
肥後議員	橋のほうだが、長さが約100メートルある。すると特に冬季期間は真っ暗になって、通る方は主に自転車もしくは歩行者となるが、照明は工事見積りに入っているのか。
都市建設部長	橋100メートルあると夜は暗くなるので、照明は設置する予定で考えている。
肥後議員	案件の内容に入っているか確認しておきたい。
都市建設部長	今工事の入札内容には含まれている。
肥後議員	橋のどの部分、入り口、出口、真ん中くらいの3点は欲しいが、どのような内容か。
都市建設部長	その辺は照度を見ながら設置場所を検討しなければと思っているが、今私が聞いているのは、それぞれの入り口と、場合によっては真ん中あたりも必要かと思うが、照度を見ながら設置場所については具体的に検討する。
笹田議長	ほかはないか。
永見議員	今回2メートルから3メートルに変更になったと説明をいただいたが、2メートルの補正予算で1億5千万円というのが前回の定例会議で提示されたのだが、3メートルに変更になったということで11月中旬に入札されると記載してあるが、金額云々自体は前のままか、それとも変更があるのか。
都市建設部長	現在構造が変わること、また橋の取り付けが増えるということで増額になるということで。今の発注は2メートルでかけたところだが、3メートルに変更したいとは考えているが、12月定例会議に補正等を出させていただき、ご承認いただいて3メートルに変更する。なんとか3メートルで設置していきたいということで準備している。
維持管理課長	照明の工事については今回の入札の工事には含まれておらず、照明は別工事で発注したいと考えている。
	現在の仮橋の発注だが、3メートルで発注はかけている。そちらのほうで進めさせてもらっている。
笹田議長	ほかはないか。
	(「なし」という声あり)

(7)第2回 金城地域断水防止対策住民説明会について
 笹田議長 | 上下水道部長。

上下水道部長
笹田議長
川上議員

(以下、資料をもとに説明)

ただいまの報告について質疑等はないか。

参加者からの主な意見の中に、凍結防止栓に取りかえる場合の費用助成の検討をお願いしたいというのがあったと思うが、これについてはご検討されたのか。

上下水道部長

部に持ち帰って検討はしたが、やはり直接的な助成は難しいのではないかとこのところである。また町内会等でいろいろな支出の方法もあろうかと思うので、そういった方法を検討していただきたい。

川上議員

ぜひともご検討いただき、必要などころには必要な措置を取られるようにしていただければと思う。追加でお願いなのだが、既に皆ご存じのとおり、ラニーニャが発生したようである。昨年9月でもこの話をして、1月には凍結した。したがって執行部におかれては、住民の方々にもしっかりこの情報を流していただき、対策を取っていただくようお願いしておきたいのだが、その辺はいかがか。

上下水道部長

住民の方への周知である。気象状況については水道部のほうで住民の皆にお知らせするのは難しいかとは思いますが、この冬も寒波が来そうだと、それに対する備えをお願いするという広報はしていきたいと思う。

ちなみにケーブルテレビ、浜っ子タイムズのほうでは少し早いですが10月にご案内させていただいている。また、広報はまだの12月号については本紙と、より具体的な中身について別添で資料を配付させていただきたいと思っている。また水道については2か月に1回検針している。11月から12月の検針の際に、またそういった注意喚起のチラシを配っている。また広報はまだなどのチラシにおいては、先ほどのケーブルテレビ、少し早いかとは思ったが流させていただいた。こちらがホームページにアップされているので、そちらが見られるようにバーコード等をつけて工夫している。

笹田議長

ほかにないか。

(「なし」という声あり)

(8)その他

笹田議長

執行部からほかに報告事項があるか。

(「なし」という声あり)

議員から執行部に確認しておきたいことがあるか。

(「なし」という声あり)

以上で議題1を終わる。執行部の皆はここで退席いただいて結構である。

《 執行部退席 》

2 その他

笹田議長

最後に議員の皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

下間次長

ではその他の事務連絡について事務局次長から。

締め切り関係の日程確認を再度お願いします。1点目は11月30日から定例会議が始まるが、個人一般質問の締め切りは11月19日金曜日の11時である。ファクス・メールでの提出の場合は前日の18日木曜日11時までの受け付けである。未送付・未確認防止のためメールなどで提出される場合は、送付後にお電話いただけると喜ぶ。なお議員の持ち時間については9月定例会議と同様、20分である。

2点目。年末調整の関係について。既に資料配付しているが提出締め切りを11月18日木曜日としているので、余裕を持って提出していただくようお願いする。年末調整不要な方もその旨を書類に記載して提出をお願いします。

笹田議長

以上で全員協議会を終了する。

[11時 35分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓